

2024 年 1 月 19 日 午前 10 時 30 分

降誕節第 4 主日 主日礼拝

司会 田村佳奈
奏楽 金井文子

讚美歌・詩編交読・信仰告白では起立をしますが、お立ちになりにくい方は、座ったままでどうぞ。

(カマ流自己紹介・平和のあざむき)

前奏

招きのことば 創世記 8:15, 21-22 (抜粋)

讚美歌 56「主よ、いのちのパンをさき」 一同

交読詩編 40:6-12(P.48/44)

祈り 司会者

《関東教区お祈りカレンダー》

武蔵豊岡教会 飯能教会 小川教会

(主の祈り)

讚美歌 394「信仰かけつぎ」 一同

聖書 旧約 イザヤ 52:7-10(P.1148)

新約 マタイ 14:13-16(P.28)

メッセージ『あなたがやいなさい』

祈り 川上 盾 牧師

讚美歌 405「すべての人に」 一同

献金 一同

(献金感謝の祈り)

信仰告白(ドローテー・ゼの信仰告白③) 一同

頌栄 28

祝禱 川上 盾 牧師

後奏

報告・紹介

<招きのことば> 創世記 8:15, 21-22 (抜粋)

「さあ、あなたもあなたの妻も、息子も嫁も、皆一緒に箱舟から出なさい。…人に対して大地を呪うことは二度とすまい。人が心に思うことは、幼いときから悪いのだ。わたしは、このたびのように生き物をことごとく打つことは、二度とすまい。地の続くかぎり、種蒔きも刈り入れも、寒さも暑さも、夏も冬も、昼も夜も、やむことはない。」

《1月礼拝当番》 田村 啓 徳島恵子
横田喜一 横田こずえ
楠元 桃 伴 尚子

《今週の集会・行事》

◎ 本日礼拝後 第 3 回“カラコン”

◎ 本日 15:00 群馬地区教会懇談会(当教会)

◎ 20 日(月) 10:30 群馬地区教師会

◎ 21 日(火) 午前 牧師、教区 ZOOM 会議
(天皇制・靖国・憲法問題委員会)

◎ 23 日(木)10:30 紅雲町集会(於・教会)

◎ 24 日(金) 牧師、共愛学園評議員会・理事会

◎ 25 日(土)10:00 会堂清掃 D 組

《次週の主日》

◎ 主日礼拝 10:30

メッセージ『闇のような時代に』

聖書:旧約 イザヤ 8:23b-9:3(P.1073)

新約 マタイ 4:12-17(P.5)

讚美歌 55, 227, 403, 29

交読詩編 44:1-9(P.52/48)

司会:服部直子 奏楽:木戸恵美子

◎ ハレルヤブックセンター 訪問販売

◎ CS午後礼拝 13:00 CSスタッフ会議

◎ 群馬地区大会実行委員会 15:00(伊勢崎教会)

引き続き群馬地区委員会

《予 告》

◎ 2 月定例役員会 2/2 日(日)礼拝後

《報 告》

◎ 本日第 3 回“カラコン”を行ないます

*座席は受付順で 8 グループに分かれます。

*分かれたグループの中で、礼拝前に簡単な自己紹介。礼拝後は交流タイム(10 分間)。

話題は「子どもの頃なりたかったもの」

*その後、3 グループに分かれて話し合い。

テーマ「2025 年度の伝道計画をみんなで考えよう」。

①単発イベント、②継続イベント・事業、③ SNS、の 3 つのグループに分かれて話し合います。またいずれのグループでも、教会に人を誘える“キャッチコピー”(印象に残る短いひと言)を考えていただきます。出されたアイデアを役員会で受けとめ、新年度の伝道計画に生かしていきたいと思ひます。よいアイデアを出し合ひましょう。

◎ 群馬地区教会懇談会(本日 15:00)

第 2 回目の開催です。今回のテーマは「牧師がい

ない時の礼拝をどうするか/牧師がい

ない時の礼拝は可能か」。一教会一牧師の体制を保持する

のが難しくなっている状況の中、牧師不在の礼拝が増えること

でしよう。この課題を、当該教会だけのものとするのでなく、地区全体で受けとめられ

ないか、というのが今回のテーマです。申込をして

いない方も、積極的にご参加下さい。

◎ 教会外観の絵・イラスト募集中(3 月末まで)

コンテストではありません。気兼ねせずに奮っ

てご応募下さい。

◎ 教会連絡網についてのごあんない

便利な LINE 連絡網への切り替えをご案内し

ています。手順については田村啓さん・川上ゆ

り子さんまでお尋ね下さい。

《先週の集会》

	ジュニア	シニア	初大人	計
CS 朝礼拝	3	3	12	18
	礼拝堂		オンライン	献金
主日礼拝	47	25		26,300
婦人会例会		13		

《メッセージ》『誰かの支えを受けて』川上牧師

サムエル上 16:6-13、マタイ 3:13-17(1 月 12 日)

▼キリスト教には「頭に手を置いて祈る」という習慣がある。一番よく知られるのは牧師(教師)按摩式。ひとりの教職(司祭、牧師、神父)が任職される時の儀式だ。▼日本基督教団ではこの儀式に対し、「権威の授与につながる」という批判の声がある。牧師になることが、何か権威を身に帯び「偉くなった」ように振舞うことは問題だ。しかし「権威の授与だ」という指摘には、「それはちよつと決めつけではないか」という意見を抱く。自分一人の決意でその働きを担うのではなく、先達たちからのエールを受け、誰かの支えを受けて送り出されてゆく...そのような側面がこの儀式には込められているように思うのだ。▼今日は旧約も新約も「手を置いて祈る(任命すること)」に関する箇所。旧約はサムエル記、ダビデの王への任命の場面である。初代の王・サウルが、王の座に着いた途端傍若無人に振舞い始めたのを見て、主なる神は次の王になる人物を選ぶようサムエルに命じた。▼選任にあたって主が言われたのは「外見(容姿や背の高さ)で判断するな。人は目に映ることを見るが、主は心によって見る」ということだった。そうして選ばれたのは、エッサイの息子の中でも最も年少のダビデであった。ダビデは何か功績を果たしたから選ばれたのではない。自分をより頼むのではなく、神をより頼む心、そのような謙虚な姿こそが「ふさわしい」と選ばれたのである。▼新約はイエスの受洗の場面。バプテスマのヨハネから洗礼を受けられたことを、最も詳しく記すのがマタイである。▼ヨハネは既に「私の後に来る方は、聖霊と火で洗礼を授けられる」と語っている。ヨハネとイエスとが既に面識があったことがうかがえる。そしてヨハネは「この方こそ来るべき方=メシア」と信じ始めていたのだらう。▼そのイエスが自分の前に現れて、そして「あなたから洗礼を受けたい」と言われたのだ。うろたえるヨハネの姿が描かれる。「自分こそあなたから教えを受ける立場なのに、なぜ?」そんなヨハネに、「今はそうさせて欲しい」とイエスは言われるのである。▼確かにこの後、ヨハネとイエスの立場は入れ替わる。イエスは神から遣わされたメシアとして、ユダヤ人のみならず全ての民を救う教えや振る舞いを示される。しかし、これから厳しい宣教の業を始めるにあたって、洗礼を受け、誰かの支えを受けて一歩を踏み出す決意の時にイエスにとっても必要だった。自分の決意や正しさだけによってそれを進めるのではなく、頭に手を置いて祈ってくれる仲間の存在が必要だったのだ。▼私たちにも、時に人生の困難や試練に出会うことがある。自分一人でそれに向き合おうとしない...そう考えると辛くなる。しかし私たちはひとりではない。共に礼拝に集い、賛美をし、祈りを合わせる友がいる。頭に手を置いて祈られた経験(洗礼)がある。「誰かの支えを受けて歩む」という経験を想い起す時、勇気が与えられ、新たな道が開かれるのだ。